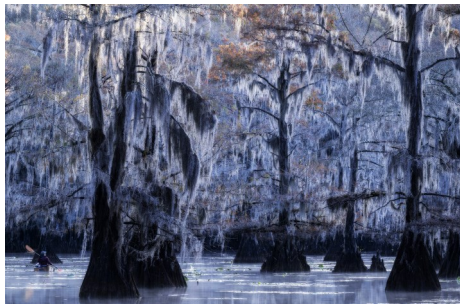




テキサスの自然風景の一番のお勧めはやはりここCaddo Lakeだ。私は再訪どころか、何度も行っている。あまり知られていない、穴場だ。しかし、4年くらい前から、ここがセドナ系の赤い岩に飽きたカメラマンたちの熱い視線を浴びている。紅葉のピーク11月前半(Thanksgivingあたりも何とか)は、この場所に州外の車が並び、飛行機にはカメラマンがごった返し、宿はとれにくくなる。

2022年11月、私はAACD(アメリカ審美歯科学会)の州外の認定医仲間たちと、風景写真のセミナーに参加した。一般的にカメラ好きは、歯科関係では技術が高い人が多い。これはただの自画自賛、忘れてほしい。ただ写真は自分の仕事を客観的に見られるし、患者さんや技工士さんとの連絡にも必須だ。歯科写真系のセミナーはすぐいっぱいになる。これは内緒だが、一般歯科の分野の中で審美歯科の分野は、一番難しく、楽しい分野であると思っている。つまり、すべての機能的なことをクリアしたうえで、さらに自然に見せたり、好みに合わせて、よりきれいに見せたりする必要があるから難易度はおのずと上がる。同じ歯でも、ある人には良くても、ほかの人には受け入れられないものになることもあるのだ。つまりアートの部分や、主観的なものが入ってくる。その分、患者さんの喜びも、期待も大きい。私にとっては、診療中も大好きなカメラに触れることができ満足だ。

そんなAACDのメンバーのカメラおたくと過ごす、毎日朝4時起ききの修行のような日々だ。途中から夏時間が終わり、体感的にはさらに1時間早起きという、鬼のような仕打ちもありだ。ある時は陸から、ある時はカヤックやボートから、ある時はドローンから。日の出前、日の入り前を中心に攻めていく。昼間はPhotoshopの勉強会だ。息つく暇もない。AACDのメンバー、さすがに写真がうまい。同じAACD認定医の意地、そして地元のカヤッカーとしては負けられない。一番上の大きな写



真は、ステートパーク内で簡単に歩いて行ける、Mill Pondの棧橋から撮ったものだ。この世のものとは思えない不思議な風景だ。ちなみにこの写真は、ヒューストンのローカル誌Memorial Buzz Magazineの2023年のコンテストで風景写真部門2位にもなった。こういう写真が、ここで撮れるのだ。カヤックのレンタルもあり、すぐ目の前のMill Pondで夢のようなカヤッキングができる。波風はなくのんびりできて、安全だ。テキサスにいるうちに、特に11月、ぜひ行ってほしい。

このCaddo Lake、カメラより今流行りのアウトドアがいいのであれば、秘密のキャンプ場がある。ステートパーク内に泊まるのもいいが、これはただの公園テントでしかないし、予約もとりにくい。スナフキンや、もう死語かもしれないが、川口浩探検隊を目指すなら、湖の中の無人島で、たき火とハンモックだろう。そんな期待にも応えてくれるのがCaddo Lake WMA(Wildlife Management Area)内のGoat Island Campだ。約12ドルのパーミットをオンラインで購入。予約はできない、早い者勝ちだ。ただ、たぶん他に誰も会うことはないと思う。不思議な森、虫たちの鳴き声を背にたき火を囲んで宴ができる。人生最高の贅沢だ。カヤックのアクセスしかない。これは今年のMemorial Dayにここを訪れた時のYouTubeだ。参考にしてほしい。



テキサス観光ドットコムも、最近時代には押され、静止画と文章のみでは見てくれる人もいないので、YouTubeという禁じ手に出た。YouTube動画はテキサス観光ドットコムからもアクセスできます。まあまあ数、動画上げてますので、是非見てください。または、YouTubeで“Texaskankou”と検索してみてください。